

(法第28条第1項)

平成27年度 特定非営利活動に係る事業報告書（第8期）

千葉県松戸市新松戸四丁目257番地の1ニューホームズマンション1階
特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 Jワールド
理事長 三浦 輝江

1 事業の成果

日本中で「子どもの貧困」が話題になり様々な支援、活動が報告される中、私たちは特に「貧困」という課題に特化した活動を行ってきたわけではなかったが、集まってくる子どもたち、家庭はその問題を抱えている場合が多くなった。そのような中で、活動の最初から行ってきた異年齢の交流、家族体験ができる居場所づくりの重要性が地域でも求められ、松戸市や他の支援団体との協力、情報交換や連携が増えた。

ユース事業

- ・里山草刈りは継続で千葉県香取市にて開催。香取市及び栗源古道保存の会の協力を得て、最高気温39度の猛暑の中、自分よりも背の高い草木を全力で草狩り作業を行った。
- ・ユースペースは放課後の中高生の居場所として開催。ゲーム、バンド、勉強、心の相談など自由に参加。中高生にとって大切な居場所となっている。
- ・県立松戸向葉高等学校、3年生家庭科授業「ライフプランニング、コミュニケーションの土台～あなたは高価で尊い宝物～」が前年度から継続。授業が始まる前は「自分のことが嫌い」という生徒がほとんどだったが、授業の終わりには「自分のことを大切だと思える」という生徒が増え、さらに家庭科の先生が学年最後に再度アンケートをとった結果、ほとんどの生徒が「自分を大切に思う」が継続しており、先生方の間、学校でも驚きの評判となった。
- ・ファシリテーター講座を計4回開催。参加メンバー数名が松戸市子どもわかもの課主催の子どもフォーラムにて、ファシリテーターとして活躍した。

ゲットユアドリーム事業

- ・松戸市中高生支援事業として委託。
- ・柿ノ木台公園体育館、松戸市女性センターゆうまつどにて合計2回のゲットユアドリーム（自分の将来を考えるワークショップ）を行い、合計38名の中高生が参加。講師8名を招き、参加者は自分の将来について語り合った。ユースペースで育った大学生、新社会人たちがファシリテーターとして活躍した。

学習支援事業

- ・平成27年度、あらたに対象者を拡大した形で毎週火・木の2回、子どもの学習支援事業を行う事ができた。年間延べ1251名(前年714名)、1回平均の参加者数が12.63人。うち3年生が52%、2年生21%、1年生27%で、前年よりも他の学年の利用率が伸びたが、3年生が過半数を超えた。
- ・昨年度から引き続いて利用する生徒もいたが、大半は新規の生徒だった。成績の良い生徒より、5段階評価で3以下をとる生徒がほとんどで、学校での適応障害(不登校等)がある生徒もいた。
- ・昨年度よりは、全体的に落ち着いて勉強できる雰囲気だった。その結果、利用者のテストの点数が全体的に底上げし、3年生で定期的に利用していたメンバーは、全員志望校に合格できた。
- ・学習の支援と同時に、居場所づくりも楽しいイベントも開催(4月フルーツポンチ、6月ホットケーキパーティ、7月かき氷大会、9月アイスクリームパーティ、10月焼きそば大会、12月クリスマス、3月卒業パーティ)。3年生卒業時に、自分が助けてもらったから、ここでボランティアをさせてほしいと申し出た卒業生が4-5人いた。受けるだけでなく、今度は自分が与える側になりたいと積極的に考えてくれる卒業生が起こされたことは、自立に向けた援助が少しでも実を結んできたのではないかと、スタッフ一同の喜びだった。
- ・3月には厚労省参事官をゲストスピーカーにお招きして、職業について、将来についてミニワークショップ(Get Your Dream 事業の縮小版)を行い、生徒たちにもよい刺激となった。

Jキッズ

- ・今年度は地域交流会や防災を家族も参加して行った。
- ・シニア交流会まつりでは高齢者との交流を目的として、クイズやゲームなどを準備し、とても良い異年齢交流のときとなった。

おやこDE広場旭町

- ・旭町中の夏休みボランティアが去年より増え46人の参加があった。3年生家庭科のふれあい体験授業は去年より1クラス多い4クラス112人対象だった。協力してくださった親子は74組171人で旭町中卒業生のお母さんや育児休暇中の中学教師の方もおられとても協力的だった。
- ・子育てコーディネーターは小規模保育施設や幼稚園を訪問して情報交換ができた。馬橋西保育所からの要請で保育所職員の見学研修の受け入れを行った。

子育てセミナー

- ・毎回、市内のおやこDE広場に置かれたチラシを見て参加する方があり、多い時で10名近くの時もあった。そのため、9月より応用編、基礎編に分け参加者の理解度に合わせて開催した。二つに分けたことは好評だった。

リトミック

- ・月に2回から4回に替えたことにより、参加人数が拡大され、多くの親子が参加されるようになり、リトミックにくることで居場所の1つとして定着してきた。
- ・参加されているお母さんに読み聞かせをお願いすることや、リトミックで使うおもちゃを一緒に作ることなど、お母さん参加型の活動へと変わってきた。

2 事業の実施に関する事項 27年度 第8期(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の平均人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①ユース事業	中学生・高校生向けに心の相談室の設立	月20回	SRCビル2F多目的ホール	4人	延べ: 中学・高校生1,512名 内訳:里山(7)名、ユース(1,467)名、GYD(38)名	1,556
②リトミック事業	子どもが心身共に自立した大人になるための企画・運営(リズム体操など)。	月4回 木金曜日(各2回)	SRCビル2F多目的ホール	6人	延べ: 未就園児(1,177名) 子ども達の親を含む	110
③子育てセミナー事業	バウンダリーについての講演会や研修会を開催。カウンセリングを含む。	月2回 水金曜日	SRCビル2F及び3F多目的ホール	19人	延べ: 松戸市及び近隣の市民(487名)	155
④Jキッズ事業	子どもの健全な育成を目的とする企画・運営をする。ボランティア活動への参加。	月2回 土曜日	SRCビル2F多目的ホール	6人	延べ: 中学・高校生(55名) 小学生以下(125名)	171
⑤普及啓発事業	上記事業についてのホームページを開設し、チラシ配布などにより活動内容を紹介。子育てについての意識の啓発。	随時	SRCビル2F多目的ホール	2人	不特定多数	7
⑥おやこDE広場 旭町	乳幼児親子の集いの場所を提供。	月17回	シニア交流センター内	3人	延べ: 6,376名	3,518
⑦学習支援事業(松戸市委託事業)	中学生に勉強を教えるだけでなく、居場所づくりとしての機能をもち、学力向上を通し、自立する力を養う。	週2回 火木曜日	SRCビル2F多目的ホール	14人	延べ: 1,251名	4,541
⑧子育て支援コーディネイト	子育ての相談、子育て支援サービスの紹介、子育て支援機関との連携。	月18回	シニア交流センター内	1人	延べ: 松戸市及び近隣の市民(91名)	1,724

計 11,782千円